いわき民報

發行所
平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼發行印刷人 田原登

最低賃金制や能率給

女子年少者の時間外勞働認めよ

勞働者の眞の叫びを聽く

平勞基署で

平勞基署では勞基法、勞災保険法施行三週年記念行事として本月初旬來、管内、四倉セメント、小名濱臨港鐵道、呉羽化學、片倉製糸、古河好間炭鑛の五事業場勞働者に對し各事業場六十名づつの無記名投稿を求め勞働者の聲を聞いたがこの程その結果が判つた、これによると△女子年少者の時間外使用が出來る樣法規を改正してもらいたい＝これは最近の低賃金や生活苦によるものと思われる＝△勞災保険による給付を迅速にしてもらいたい、又同保険による葬祭料は平均賃金が基準となつて支給されているが高賃金、低賃金を問わず一律に勞働者という立場から一率に支給してもらいたい△監督官を増員し事業場の監視を強化し勞働者の味方となつて活潑に活動してもらいたいという意見が最も多くこの他種々の要望事項があつたが、各事業主に對する各々の要望が占め特に△最低賃金制の確立を早急に實施せよ△賃金制は能率給にしてもらいたい等一部には勞基法、勞災法に對してあやまつた解釋をしているのも見受けられた

湯本地區 連合演劇發表會

十月廿八日晝夜開催に決定

湯本町レクリエーション協會主催湯本町役場同町校長協議會、同町連合PTA會、いわき民報、文化ウイクリー後援で湯本地區連合第一回演劇發表會開催につき二十日午後六時から役場會議室で第一回準備會を開催協議の結果、來る十月二十八日晝夜湯本町常磐炭鑛自治會館で上演發表されることに決定、晝間は學生演劇、夜間は一般文化サークルが演劇する、參加校及び參加團体は湯本町幼稚園湯本小中校、常磐小中校、湯本高校、湯本町演劇同人、常磐炭鑛磐崎鑛、湯本鑛で町炭鑛學校三者連合演劇發表會は湯本町では初の試みなので教育文化、社會文化上意味が大きく盛況が豫想される

植田町署員に拳銃支給

植田町の自警官は從來拳銃を所待せず物さびしさを感じていたが二十日から待望の優秀な拳銃が署員一同に一挺宛渡され物腰淋しかつた警官も漸く威容成り今後は思う存分活躍が出來るものと期待されている

學校新聞
PTA新聞
機關紙
新聞印刷專門の本社印刷部を御利用下さい
いわき民報社 電一二二三

民有林施業案

植田で打合

植田町では二十日午前十時から會議室に於て二十五年度の民有林施業案編成に關し民有林所有者多數を招致し業務打合會を行つた、此の日福島森林連合組合小宮頭氏が臨席し施業案編成に就て具体的説明する處があつた、氏の企畫内容は今回の施業案は民有林と社寺有林の編成で大体十ヵ年間の長期に亘る企畫で一應個人的に其林相を聞き現況に應じ天然更新と撫育或は造林等の對策を樹立し以つて將來の寶庫たらしむるべく助成する方針である

申請者タッタ一件

面倒な住宅融資手續

第二回金融公庫住宅建設資金の融資對象は百二十七件で各該當者はそれぞれ融資許可通知書があつてから三ヵ月以内に必要書類（七部）を平土木監督所（市經由）に本月末まで提出せねばならないことになつているが、この書類の中には設計圖青寫眞 部を作らねばならず代書人に依頼すれば總工事費の三分（工費二十万円として）六千円は手數料としてとられる、又土地權利證、建築申請書等必要書類があまり面倒な爲、現在のところ提出した者がタッタの一件他は大部分この面倒な手續や經費に驚いて棄權する有樣である

川崎次長視察

第二管區（鹽釜）海上保安本部次長川崎周三郎氏は二十日から三日間の豫定で小名濱、江名、豐間の各地を初巡視

不良化防止座談會

内郷町の第一次計畫終る

内郷町青少年不良化防止座談會第一次は去る十三日から十九日まで公民館專任主事赤土光榮、自治署少年係木村望の兩氏を講師に毎日午後六時から開催され公民館の在り方（赤土氏）少年犯罪心理の解明（木村氏）の講演後質疑應答の形式で行つた

△十三日綴東部落館、參加人員六十名、成人教育に就いて、△十四日内町西區部落館、參加人員四十五名社會環境に就いて、△十五日滝井場部落館、參加人員三十五名、ボスの排斥、少年愛護連盟とボーイスカウトの活動に就いて、△十六日綴第一部落館、參加人員三十六名、政治の貧困と補導の具体的討議、△十七日高坂北區部落館、參加人員四十三名、不良化の原因に就いて、△十八日立改立野部落館、參加人員四十六名特に婦人の參加に就いて、△十九日高坂岡區部落館、參加人員四十名、金坂球戯場パチンコ反對問題に就いて、尚第二、第三、第四、第五次を計畫中

今度は鯨の中毒

一家五名が重態

平市六軒門會社員猪苗代博（四二）方では主人の留守中家族八人が二十日の夕食に鯨生肉を煮て食べたところ午後十一時頃猛烈な中毒を起し母セキ（七四）長男辰雄（一七）次男隆（七ッ）次女則子（一三）三女博子（一〇）の五名は重態に陷つた、尚赤羽醫師の診斷によれば生命には異狀ない模樣である

小野局長

炭鑛を視察

資源廳鑛山保安局長小野儀七郎氏は二十五日常磐地區の保安狀況を初巡視の爲來平、二十六日常磐、古河好間の兩炭鑛を視察することになつた

タコの中毒

勿來町窪田町通り平山自動車整備工場運轉手山崎昇（二二）さんは十九日朝食にタコを食べた所中毒をおこし重症である

内郷教育委會

内郷町教育委員會は二十五日午後一時から役場會議室に開催、第一中學校舍配置關係に就き協議する

教育研究會

あす開く

平市内教育研究協議會は二十二日午後一時から地方事務所會議室に開催縣教委指導課長長谷川次郎氏の校長教務主任の指導講習が行われる

標識を寄附

青山會長が

江名町自動車組合會長青山寅吉氏は二十日案内標識、指導標識等十八基を同町に寄附、町民から感謝されている

麥の供出依然不振

石城郡下の供麥成績は二十日現在で割當二万二千四十三石に對し九千九百二十石の四十五%という不振で石城地方事務所では二十一日から管内六ブロックに別け督勵班を繰り出すことになつた、管内町村で五十%台を突破した町村は植田、山田、勿來、川部、鹿島、小名濱、磐崎、赤井、大浦、大野、上下小川、豐間の十二ヶ町村で好間村は七・五%と最も振わない

優良警察官

四名を表彰

平地區署で

二十一日平地區署では管内駐在所で勤務成績優秀並に犯人逮捕に積極的な次の四氏の表彰式を行う

△上小川村清水隆雄巡査（二五）△大野村郡下巡査（二六）△大浦村菅野昭夫巡査（二八）△草野村田倉伊佐美巡査

錦町署でも表彰

錦町署では上半期（一月から六月迄）における犯罪檢擧、注意報告敗の優良警察官として二十日金一封を添えて次の三名を表彰した

▽犯罪檢擧之部、桒花久次郎（三十九件）遠藤満藏（三十七件）△注意報告之部藏之幸一（満點）

好間村の運動會

好間村第一小の秋期大運動會は一日午前八時から同村好間中學校は八日實施する

小額紙幣と硬貨回收

小名濱で共同募金の一部に

小名濱町では來月から始める共同募金にさきがけて二十五日から三十日までの一週間各學校兒童生徒を通じて小額紙幣並に硬貨の回收を行う、同町の共同募金目標は二十七一万八千四百円でこの小額紙幣の回收で一割程度の募金成績をあげたいと各家庭の協力を求めている

肖像畫による古人の再現
寫眞より安價ですから一度御相談下さい
平五 菊水肖像畫院

電動機講習會

廿二日開く

縣購買連合會、縣農業電化協會では農事用電動機使用の最盛期に入つて來た折柄、農事用電動機の分解掃除、組立及簡易な修理や使用時期における事前整備に對する知識技術の習得と共に農事用電力料金の説明を兼ねた講習會を二十二日午前十時から湯本町農協組に石城、双葉兩郡の農協組員を集め講習會を開く

密造檢擧六十七件

二十九石を押收

今度はハマ方面を檢索か

一月から

平稅務署間稅課では去る一日以降管内各町村のヤミ酒製造部落の急襲を行い、現在まで六十七件の檢擧數を擧げ押收濁酒が二十九石にのぼつたが、この中四十件は一般の祕密情報、即ち投書によつて得たものので今後もこの情報に期待するところが大きく各機關を通じて同課では積極的な情報蒐集に躍氣となつており、今後はサンマ漁務期を迎えハマ方面の濁酒製造を活潑になるところからその對策を講じている、なお濁酒製造の多かつた町村は湯本町、大野村、高久村、小名濱町となつており、最近は交通不便な部落で安全な場所で製造する爲、山間や農村でも特にヘンピなところに移り、依然炭鑛街の製造も跡を斷つていないと云う

銅釘泥擧る

小名濱町大字岡小名字池袋人夫渡邊義江（一九）は八月十日頃から前後六回に亘り小名濱港工事々務所に侵入、銅釘二十六貫六百匁（七千円相當）を更に十六日夜同字地内の小名濱、江名間の電話線四十米一貫六百匁（六百円相當）を盗んだことが發覺十九日小名濱町署に檢擧された

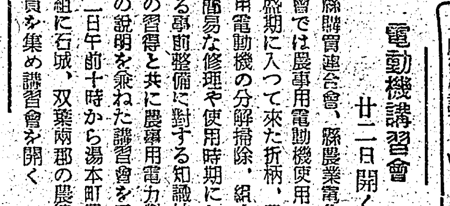
現金五万圓すらる

平市平月町一九建築業作田文平（四四）さんは二十一日朝商用で植田町に行く爲に平驛から乘車の際シャツの胸ポケットから現金五万円をスラれた、犯人は乘車の際作田さんの前後に居た十七、八才位の少年スリの常習犯らしい

また列車を臨檢

二名を送檢

二十日平鐵道公安室では上り二二〇列車（平發午後三時）に富岡から公安官四名が分乘車内の一齊取締りを行い無主物九個を押收、横濱市中區花咲町辻野商會社員鈴木浩三（二〇）東京都江東區深川猿江町貴金屬細工業石井不二（三五）の兩名を食管法違反で送檢した



玉寿司
平三 電五七五

本社株主總會

第四回本社株主總會は二十二日午後二時から本社ホールに開く

社告

小名濱支社
電話新設
五八六番
いわき民報社

溜池に轉落死

川部村大字沼部字市畑農業佐藤昇さん方三女好子（二ッ）ちゃんは十七日正午頃自宅裏の溜池に轉落死亡した

大島勝巳氏

東大附屬病院物療科に入院加療中の元河北新報平支局長大島勝巳氏は直腸癌のため十八日午後五時死去した、四十九才、告別式は廿二日午後一時平市仲間町の自宅で行う

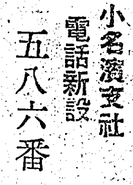
天氣予報

廿二日

【今晩】北寄りの風、晴れたり曇つたりの天氣です、所により小雨がありましょう【明日】北寄りの風弱夕うすら寒く雲が多いですが日中は晴、時々曇る天氣となりましょう、海上はおだやかですが沖合はうねりがありますから船舶は御注意

女給さん募集 優遇いたします
小名濱町元分電三八二一
輕飲食 鈴竹

1590年 秋冬の
ニユールツク
最新型 洋服
純毛最優良品
御注文は
お早いが
お徳です
越 藤越
平銀座街
電265
1280－2



東京 高島易斷本部 出張
絶對絶大！好評に付
九月二十六日迄日延べ
【以後日延べなし】
運命を知る人に失敗なし
▽事業の見透し▽運氣の消長▽結婚戀愛の吉凶▽病氣の吉凶▽物價の高低▽農業發展策▽一代の運命の消長
毎日午前九時より午後六時まで
日本一信用ある
三輪顯堂先生
神の力か？人の力か？
科學か？哲學か？
ビックリする程
カナラズあてる
觀相 百圓より
平市長橋町 性源寺

最古の歴史
家庭染料
みやこ染
（各藥局藥店にあります）
品質本位

◆開店披露◆
22日開店
他の追從をゆるさぬ
味覺の王座
喫茶と
輕食
（酒は大七）
出前
迅速
平市仲田町 電204
茂登め

名月談義

渡邊何鳴

虛子の新歳時記には名月の季語解を次のようにのべている簡潔で平明で誠に要をつくしている

陰曆八月十五日―中秋の月をいうのである、三秋の月の中でこの夜が一番明澄である上に、恰も秋の眞中で秋草は咲き亂れ、露置き、虫鳴き、氣候亦快適で、四邊の風物が更に月を淸く風情あらしむるもののようである名月というのもこのすぐれた淸い月を賞でて稱えたものである、この夜月の名所はいわずもがな、丘にも海にも、園生にも、或は市井の縁台にも月見る人を見られるであろう、各戸では月に供物をして祀る

こう記してあるのだがさて名月などと特にとりたてて何やかやいうのはおそらく俳人だけかも知れない、しかし昔から誰でも名月を知らぬものはなく、子どもなどからは何となく親しまれているようだ、もっとも子どもたちには月よりは供物の團子とか、栗とか豆とかが問題なのであろう、とにかく十五夜には縁側に机を置き、萩やススキを壺にさしていろいろの季節のものを供えるのである、この風習は日本全土におしなべて行われるのであろう、今ではどうか知らぬが筆者の少年時代などはお月見の供物を棒でつきさして盗んで食ういたずらが公然と行われたことがあったように記憶している、もっともその時代はものが比較的豐富であったため、少々盗まれても惜しくもなく、従って無邪氣ないたずらとして子どもたちにだけ許されたならわしなのであった、しかしいかに少年たちにだけ大目に見られたこんな風習はあってはいけないことだったであろう、盗みに成功するという一種の快感がだんだん助長されてゆく一つの機會ともなったであろうと思われるのである、この樣な盗みに似たようなことが平然となかば公然と行われるような風習が何か他の年中行事のうちにもあったように思われるが、そうした惡習は當然排拭されねばならない

俳句の仲間にとっては名月は絶好の對象となるもので、その夜は盛んに觀月句會を催されるのである、もっとも月や俳くをいわゆるだしにして大いにのもうとする不心得の連中もないではないが

句作中にはせんべいくらいの簡素な茶菓子などはぼつりぼつりやる事もよいが酒盃を手にすることはよろしくない、投句もすみ、披講が果ててから折角ととのえられたものであれば頂くという段になるのである、筆者が在京當時いわゆる實業家のブルジョアの觀月句會に招かれたことがしばしばあったが、會のあとで必ず豪奢な宴席が設けられたことを記憶している、もっとも戰爭前で人の心にも余程ゆとりがあった時代のことである

しかも當時のブルジョアは人を招いて御馳走をして得意となっていたことも事實であったろう、地方での觀月句會でなお記憶に新たなるものとしては常磐炭鑛や好間古河炭鑛などに招かれたときであるそれ相當のもてなしにあずかったことであった、常磐のクラブは靜かな山かげの住宅街にあって環境は極めてよいところ、湯の岳の裾が見え、ススキの穗が白々と光っているような、鑛都とはおよそ似つかわない閑寂境であった

あの頃はまだ撫山氏も健在であったので隨分と氣合のかかった句會であった、好間の句會は蔦寮だったと思われる上鶴秋岳など元氣のよい鑛山の面々であるので樂しくもまた活潑なものであった、平でもいくたびか句會があったがあまり印象を深めたものはなかったと思う

こんどの名月には平工俳句クラブが盛會を期しているようだし、青柿會も計畫をすすめているようであるから久しぶりに觀月句會をもつことが出來ると思われる

十五夜の月も必ずしも明月とばかりはゆかないもので曇っているとか、甚だしいのは雨が降ったりして折角の月を觀賞出來ないことがしばしばある、そうした場合でも俳句は都合のよいもので無月とか雨月とかいう季語があるのである、それから名月を望月、滿月、今日の月、月今宵、芋名月などとも言うことが出來るのである、良夜と言う言葉もあるが、中秋、月光くまなき夜にふさわしい言葉だと思う、次に名月を詠んだ句を少し拾ってみよう

名月や門へさしくる潮頭　芭　蕉
名月や疊の上に松の影　其　角
名月も御覽の通り屑家かな　一　茶

無數にある句の中から、中學校の教科書にもありそうな句を選んでみたが、句としての價値は論外として、各々の性格がにじみ出ていて面白いと思う、現代の俳人のものでは

明月を遮る庇面白し　虛　子
十五夜の庭掃いているしもべかな　一　路
名月や妙心寺内石蟹　東洋城
海鳴りのして名月に一人かな　別天樓

なお無月とか良夜の句としては

ガラス越し雨がとびつく無月かな　青　畝
澤山な雨月の舟の止まりいる　立　子
つわぶきの鏡のごとき良夜かな　泊　月
蠟一つ良夜の硯なぶり居り　茅　舍
人暗く手摺により雨月かな　虛　子
馬追のまづ鳴きいでし良夜かな　秋櫻子
鴨下ろすしぶきの見えて良夜かな　旭　川

拾いあげれば際限もないほど有名無名の句があるのである月見ればちぢにものこそかなしけれではないが同じ月をみるにしても人各々の境遇によってその感懷はおのずから異なるのである、感傷に涙ぐむのも人生であり、醉眼もうろうとして月に啞するのもまた人生であろう、いささか俳人ぶって名月談義をならべたてるも筆者の人生でもあって所詮わが身一つの秋ではないのである

第二の貨車止か

小名濱ふ頭使用問題再燃

小名濱港務所では小名濱港灣會社が三千トン岸壁を獨占して小名濱埠頭會社側の岸壁使用に支障を與えていると云う理由で十八日午後一時より同所に兩會社、海運局、在港貨物船々長らの關係者に參集を求め協議したが、小名濱港灣會社側が港務所の指示に服さなかったため何らの結論も得ず閉會、これに業を煮やした港務所では縣に連絡、縣河港課から渡邊技師が十九日來港、實情を調査して廿日午後歸縣したがこの結果何らかの手が打たれるだろうと港務所側では見ているがこの爲小名濱埠頭並に入港船三隻の船長は迷惑千万だと港灣會社に不滿を洩し一方海運局、港灣會社側では今度の港務所の態度は諒解しかねるとの見解をとって再び第二の貨車止め事件まで問題が進展しようとして注目を惹いている、關係者の言分は次の通り（伊藤記者）

岸壁獨占は不可

濱田港務所長語る

延長二百八十米の岸壁のうち埠頭會社に僅か三十米の使用しか認めず後は全部港灣會社が鑛石を滯貨させているので埠頭會社並に船舶側から苦情が出たわけだ、現狀を良く見ると鑛石を片ずければ埠頭會社側で使える余地があるので鑛石を片ずけるように申入れたところ應じないので最後の手段としてあくまで獨占するなら縣が片ずけるぞと申入れしたがこれに對しては「勝手にやれ」との返事であった岸壁の管理者である港務所の言う事を聞かないとあっては縣の指示を受けて何らかの處置をとらざるを得ない、何れにしても第二の貨車止めが起きることにもなるかも知れない

管理者無視の港灣會社

渡邊縣技師

縣河港課渡邊技師談―岸壁の使用について管理者の申入れを無視するような港灣會社の態度には感心しない、何れ縣條例を改正し管理者の言う事を聞かない者に對しては罰則の規定を作るより仕方ないと思う、歸縣したのち良く研究したい、今度の來小は現狀の視察が目的である、これにより縣の明確な方針が決るだろうと思う

今野海運局支局長語る

東北海運局小名濱支局今野支局長談―港務所に一々荷揚場所を指示する權限があるかどうか疑問だ、港灣法第十三條の精神から云っても港務局（港務所がこの役目をやるとして）は港灣運送業に關連する私企業の公正な活動を妨げ又は干渉してはならない事になっている（この場合公正な活動と云うものの解釋に疑義があるけれども―）海運局が今まで兩會社の協定に積極的に關與して來たのは本局の職務が船舶の稼動、輸送の增强、港灣作業會社の監督の面から岸壁使用を放っておけない狀態にあったからであって若し港務所が荷揚の都度貨物について一々荷揚の場所指定の權限があると云うなら海運局は將來この問題には表面に立たないであろう業者間で円滿に協議して決める事が大切である、若しその權限があるとしても業者間で話をつけるべきで縣が岸壁使用について罰則を作る等と云う事は港灣法十三條の精神にも反するだろう

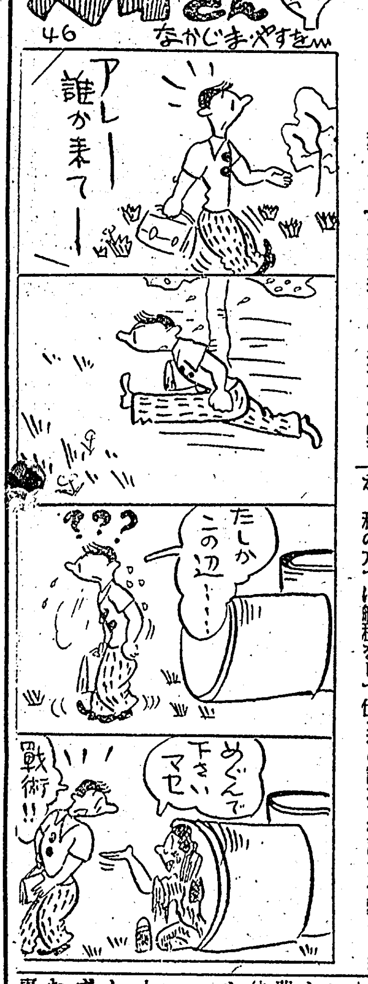
業者間の問題だ

西丸社長語る

小名濱港灣會社西丸社長談―私の方では一兩日中に鑛石（ドロマイト）を積みに來る船（大天丸）があるのでそれまで待って貰いたいと話しているのに港務所は聞いて呉れない、一体鑛石を一方に片付けるとしても費用は誰がもつのか、結局當社の負擔ということになる、そんな無駄な金は今使えない、それに走行式グレーンのレールに鑛石を積上げたら仕事にならんじゃないか、私の方では船積をして仕舞えばグレーンも貸してやるといっている程だ、埠頭會社のように不定期に入る船に岸壁はあけておけない、こういう問題は業者同志で決めるべきもので一々役所が介在すべきものではない、港務所にそんな權限はないと思う、世の中は公平を期して進まなければならない

埠頭會社の石津專務談

小名濱埠頭會社石津專務談―港灣會社からグレーンを貸してやるなどと云われた事はない、走行式グレーンのレールに鑛石を積むと動きがとれないと云っているが現在港灣會社には一隻の船も入っていないのだから私の方の船が荷役するまで假に動かなかったとしてもそれまでには迷惑をかけない、入港の不定期だと云うことは海のことでもあり港灣會社の大天丸が入港豫定より延びているのでも判る筈、お互樣のことだ、二百八十米の岸壁のうち一番尖端の三十米しか使えないのは港灣會社が船も入らぬのに埠頭を獨占しているからで荷を幾分整理さえすれば問題ないと思う、あの鑛石は二カ月以上も前から岸壁に山と積れてあるのを見ても判る、本社では十四日に入った東丸（コークス二百七十五トン）十七日入った八重川丸（粉炭百五十トン）十八日に入った朝日丸（コークス二百五十トン）の荷を揚場所がなくて荷揚出來ずにおり仕方がないから魚市場にでも揚げようかと考えたが水深の關係でこれも出來ずにおり寶永汽船、光汽船の各社からは荷揚が遲いため配船計畫が目茶々になるので小名濱へは船を廻せないと云われて閉口している始末だ、小名濱港の利用について再考する時機が來ている、なお業者間の話合でこの問題が解決するのであれば既に決っている筈であり港灣會社の云っている事と實際やっていることが違うのも甚だ遺憾であると思っている



相談室

法律税務、經濟、職業等々どんな事柄でも、それぞれ專門家の意見を總し、親切に御回答申上げます

空渡しの請求

私は本年四月家主から家屋空渡の請求を受け調停裁判の結果本年中に空渡すことになりました（家主が使用するため）一方的なこの調停員の取扱に不服ですが調停で決ったことは不服の申立が出來ますか費用は（辯護士を依賴）どの位掛るでしょう、上訴の手續を御教示下さい

（六丁目鈴木時夫）

回答 借地借家調停法第二十六條で調停認可の決定に對しては不服を申立てる事を得ずとありますので調停で決った事に對して不服を申立てる事は出來ません（地裁平支部

指導船うづら

輕微な損傷

十九日怒濤を冒して出港した小名濱海上保安部配屬うずら（百二十トン）は二十日早朝鹽釜港に入港したが同保安部への報告によると同船は錨綱が二本とも切れたためやむを得ず小名濱を出港、折柄の怒濤のため保志甲板員は負傷したほか三名の乘組員は打撲傷を負い船体も[illegible]な損傷を受けたことが判った、保志甲板員は鹽釜港で二十日入院した

ラジオ

JOCP JOHQ 【22日】ローカル 郡山放送

前七・二五 國体豫選を顧みて
後六・三〇 縣政便り『國勢調査はこうして』縣統計課長荒澤平八
後七・三〇 郷土の夕（二三九）＝天然資源開發＝郡山放送劇團、平石炭事務所長鈴木高麗雄、常磐炭礦歌謡曲及炭礦節

☆氣分の店☆
お酒とビール
お氣輕に御來店下さい
小柳
平市 世界館通

南米隨一の雄藝術の國アルゼンチンが贈る戰後最大の大音樂映畫！
タンゴ樂團百五十名特別出演
『タンゴ』
今や全日本の話題をさらう大ロマンス篇！
二十二日より四日間
平文化

『戰火のかなた』のロッセリイニと共に戰後イタリア映畫界を背負う俊英
ルイジ・ザムパ作品
イタリア映畫
待望の第二彈
『平和に生きる』
二十二―四日【ナイトショウ】九時より
平館

眼科
安田醫院
平市紺屋町 電1225
【移轉】平文化斜向側

本場自慢
牛豚肉
【夜も營業】
第一綠屋
第二綠屋
電794 電539

眼科
松崎醫院
內郷第二イワキ隣
電話（綴）一二番

時計のお買時は今！
セイコー製品特約店
レコード
電氣器具
Columbia
金光堂
平五（電195）

ミシンの
ミウラ
平市平和通り 電八六四

處方調劑 下痢一般
平五
平藥局

（入院隨意）
産科
婦人科
中田醫院
中田三郎
平市材木町二一四（聚樂館附近）
電話一〇九七番